摩訶般若波羅蜜多心経	現代語訳
まかはんにゃはらみったしんぎょう	大いなる智慧の教えにより彼の岸(悟り）に到る心のお経
摩訶般若波羅蜜多心経	
かんじざいぼさつ	（人の心をよく観察できる）観自在菩薩が
観自在菩薩	
ぎょうじんはんにゃはらみったじ	真実の大いなる智慧を、深く静かに働かせていた時
行深般若波羅蜜多時	
しょうけんごうんかいくう	世の中の全ての存在・現象は五つの構成要素(色受想行識)
照見五蘊皆空	で成り立ち、すべて実体のない永久不変ではないと見抜き
どいっさいくやく	あらゆる苦しみや災いから抜け出しました
度一切苦厄	
しゃりし	舎利子（シャーリプトラ）よ。（よく聞きなさい）
舎利子	
しきふいくう	世の中の全ての存在・現象の形（色）あるものは
色不異空	実体がないこと=空
くうふいしき	実体がないから、一時的な形（色）として
空不異色	存在し現象として現れる
しきそくぜくう	形（色）あるものは、すなわち実体なきものであり
色即是空	
くうそくぜしき	実体なきものは、つまりは形（色）あるものである
空即是色	（常に変化している）
じゅそうぎょうしき	感覚（受）も、概念（想）も、意志（行）も、意識（識）も
受想行識	
やくぶにょぜ	同様に実体がない=空
亦復如是	
しゃりし	舎利子（シャーリプトラ）よ。（よく聞きなさい）
舎利子	
ぜしょほうくうそう	全てのものは実体がなく変化する性質がある
是諸法空相	
ふしょうふめつ	（実体がない=空だから）
不生不滅	生ずることもなく、滅することもなく
ふくふじょう	汚れたものでもなく、清らかなものでもない
不垢不浄	
ふぞうふげん	増えることもなく、減ることもない
不増不減	
ぜこくうちゅう	従って、実体がないという中においては
是故空中	形（色）はない=空
むしきむじゅそうぎょうしき	感覚（受）も、概念（想）も、意志（行）も、意識（識）
無色無受想行識	もない
むげんにびぜっしんい	眼、耳、鼻、舌、身体、意識といった感覚もない
無眼耳鼻舌身意	（感覚に頼り過ぎてはいけない）
むしきしょうこうみそくほう	形、音、香り、味、触覚、心の器官もない
無色声香味触法	（器官に頼り過ぎてはいけない）
むげんかい	眼に映る世界もなく
無眼界	
ないしむいしきかい	それらを受けとめる心の世界（意識）もない
乃至無意識界	
むむみょう	迷いもなく
無無明	
やくむむみょうじん	悟りもない
亦無無明尽	
ないしむろうし	老いることや死ぬこともなく
乃至無老死	
やくむろうしじん	老いや死がなくなることもない
亦無老死尽	
むくしゅうめつどう	苦しみも、苦しみの原因も、苦しみが無くなることも、
無苦集滅道	悟りへの方法もない
むちやくむとく	知ることもなく、何かを得て達成することもない
無智亦無得	
いむしょとくこ	何も得るものがないからこそ
以無所得故	
ぼだいさつた	悟りを求める者は
菩提薩	
えはんにゃはらみったこ	とらわれなき大いなる智慧（空）をより所とする
依般若波羅蜜多故	
しんむけいげ	心にとらわれるものがない
罣無	
むけいげこ	心にとらわれるものがないから
罣故	
むうくふ	恐怖や不安がない
無有恐怖	
おんりいっさいてんどうむそう	あらゆる間違った思考や妄想から解き放たれているので
遠離一切顛倒夢想	
くうぎょうねはん	とらわれのない静かな悟りの境地に入ることが出来る
究竟涅槃	
さんぜしょぶつ	過去、現在、未来の仏（悟りの境地に到る人）も
三世諸仏	
えはんにゃはらみったこ	とらわれなき大いなる智慧（空）をより所として
依般若波羅蜜多故	
とくあのくたらさんみゃくさんぼだい	この上もなく、正しい悟りの境地に到ったのです
得阿耨多羅三藐三菩提	
こちはんにゃはらみった	従って知るがよい、
故知般若波羅蜜多	とらわれなき大いなる智慧の完成こそが
ぜだいじんしゅ	偉大な言葉であり
是大神呪	
ぜだいみょうしゅ	偉大な悟りの言葉でもあり
是大明呪	
ぜむじょうしゅ	この上なく尊い言葉でもあり
是無上呪	
ぜむとうどうしゅ	比較するものがない言葉である
是無等等呪	
のうじょいっさいく	それ故に、全ての苦しみと災いを取り除く
能除一切苦	
しんじつふこ	偽りなき真実である
真実不虚	
こせつはんにゃはらみったしゅ	その言葉は、
故説般若波羅蜜多呪	とらわれなき大いなる智慧の完成の境地こそが
そくせつしゅわっ	即ち、次の言葉である
即説呪日	
ぎゃてい　ぎゃてい	往こう，往こう
羯諦羯諦	
はらぎゃい	とらわれなき悟りの世界（彼岸）に往きて
波羅羯諦	
はらそうぎゃてい	とらわれなき悟りの世界へ（彼岸）一人残らず往きて
波羅僧羯諦	
ぼじそわか	悟りよ幸いあれ
菩提薩婆訶	
はんにゃしんぎょう	ここに、智慧の完成に到る者の心のお経を終える
般若心経	